



加東市

Official Website of Kato City

兵庫県加東市社123(中央図書館2階)

担当課: 市民安全部健康課

〒673-1493

☎0795-42-2800 FAX0795-42-3978

http://www.city.kato.lg.jp/

Eメール: kenko@city.kato.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 157.49km² (平24.4.1)

(2)人口

| 35国調 | 12国調 | 17国調 | 22国調 | 平24.5.31住基 |
|-----------------|--------|--------|--------|------------|
| 34,170 | 40,688 | 39,970 | 40,181 | 39,618 |
| 65歳以上人口比率(22国調) | | | | 22.1% |

(3)世帯数

| 35国調 | 12国調 | 17国調 | 22国調 | 平24.5.31住基 |
|-------|--------|--------|--------|------------|
| 6,902 | 12,773 | 13,155 | 14,133 | 14,551 |

(4)沿革

平成18年3月20日、社町、滝野町、東条町が合併して加東市となり、「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち 加東」の実現のために新しい歴史がスタート

| 区分 | 就業人口 | 就業人口 | 就業人口 |
|----|-----------------|------------------|------------------|
| | 45国調 | 17国調 | 22国調 |
| 1次 | 5,884人 33.1% | 1,178人 5.9% | 893人 4.7% |
| 2次 | 6,174人 34.7% | 7,043人 35.0% | 6,914人 36.0% |
| 3次 | 5,712人 32.1% | 11,806人 58.5% | 11,386人 59.3% |
| 計 | 17,771人 | 20,130人 | 19,878人 |

本市の概要

兵庫県中南部に位置する加東市は、美しい自然、豊かな文化、あたたかな人々を誇る、夢がきらめく元気なまちです。

源平古戦場「三草山」、鬼追踊で知られる国宝「朝光寺本堂」、太平記のふるさと「光明寺」などが、千年の歴史と文化を今に伝え、清流加古川や東条湖の美しさが人々の心を癒し、北播三大祭の一つである「佐保の秋祭り」が、訪れる人々を魅了します。

そして、日本一の酒米「山田錦」、全国9割のシェアを誇る「釣り針」、鯉のぼりやひな人形などの多彩な特産品には、伝統の技が受け継がれています。

加東市では、これらの歴史や伝統、自然を大切にしながら、情報化推進の最先端のまちとしてCATV網の全市域整備、中国自動車道や国道175号と国道372号が縦横断する地の利を生かした産業基盤の充実(工業団地整備・企業誘致等)などにより、まちの活力を創出しています。

また、加東市民病院をはじめとする地域医療の確保、兵庫教育大学との連携、都市的環境を備えたニュータウン整備などにより、ささえあい一人ひとりを大切にするふるさとづくりに取り組んでいます。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

加東市健康増進計画に掲げるこころの健康づくりの推進により、市民一人ひとりがこころの健康の重要性を認識し、身近な問題として受け止め、かけがえのない「いのち」を大切にする健やかな地域づくりを目指す。

また、ライフステージに応じたきめこまやかな支援を行い、こころにやさしいつながりを大切にし、自殺者の減少を図る。

<具体的な取組み>

1. 総合的な推進のため、こころの健康づくりネットワーク会議の開催（平成23年度～）
庁内13課と社会福祉協議会、加東市民病院との積極的な連携を図り自殺予防対策の啓発や推進を図る。（オブザーバー：加東健康福祉事務所）年3回程度

2. 取組みの主な内容

1) こころの相談支援の充実と連携

① こころの相談窓口PR

加東市オリジナルキャッチコピー「話そうよ 自分の悩み 心の声」
県いのちとこころのサポートダイヤル（土日祝、夜間対応）と加東市内電話相談窓口を掲載したチラシを作成し、関係機関の連携により啓発

② 働く世代への啓発

・市連合PTAを通じて啓発
・商工会を通じ、健康づくり協賛店67店舗にこころの電話相談窓口PRカードを設置（平成24年度～）

③ 地域医療連絡会を通じて医療機関へ配布

④ 専門機関等へつなぐ

2) 自殺・うつ予防の早期発見と正しい知識の普及啓発

① 広報やCATVを利用した情報提供の実施。

自殺予防デー（9月10日）自殺予防週間（9月10日～1週間）、
自殺対策強化月間（3月1日～31日）に合わせて集中啓発

② 各種健診・教室、相談等において健康教育及びパンフレット配布による啓発

3) 市民向け講演会の開催（平成22年度～）

① 平成22年度 テーマ「言葉といのちの大切さ」

講師 神戸いのちの電話事務局長 大林 富雄氏

参加 256人

② 平成23年度 テーマ「こころは笑顔で～笑って！ひらく！健康の扉～」

講師 大阪大学大学院医学系研究科准教授 医師 大平哲也氏
アトラクション ビオラ&ピアノ演奏

参加 256人

③ 平成24年度 テーマ「健やかな眠りのために」(予定)

講師 滋賀医科大学睡眠学講座 特任教授 宮崎総一郎 氏
「快眠を導くストレッチ」

講師 帝人在宅医療(株)健康運動指導士 河野洋允 氏

4) 人材育成

- ・かとう福祉学校生の講座プログラムの一つに「こころの健康講座」を取り入れ、理解者を増やす
- ・民生委員会で協力依頼

5) ライフステージ別取組み

- ・妊娠期：養育支援ネットによる産婦人科との連携
- ・新生児期：産後うつエジンバラチェックリスト、赤ちゃんへの気持ち質問票の実施
- ・乳幼児期：虐待予防支援、子育て支援課との連携
- ・学童期：ネットいじめ・誹謗中傷相談（メール相談可 窓口：青少年相談センター）
- ・青壮年期：まちぐるみ総合健診時にうつのチェック入りパンフレット・電話相談窓口配布
商工会との連携
- ・高齢期：介護うつの相談支援